

平成29年度事務事業評価シート

No.238

平成29年5月30日作成

事業番号	299	担当課等	消防署							
事務事業名	救急救命士事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	01	事業開始年度	平成 4 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P106 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(2) 救急業務体制の 整備	② 救急救命士などの育 成
関連する個別計画	新採用職員採用計画				
目的	計画的な研修等により、財政負担を抑制しつつ、必要十分な救命能力の維持・向上を確保する。				
対象	消防職員				
内容	新採用職員に救急救命士資格を有する者または見込み者を採用した場合、活動するのに必要な研修や現有の有資格者の再教育、新規の研修などを実施する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)		
	事業費	1,243,022	1,509,376	1,725,000			
コスト	人件費	常勤職員	7,619,000	7,495,000	7,283,000		
		非常勤職員等					
	人件費合計	7,619,000	7,495,000	7,283,000			
	総事業費	8,862,022	9,004,376	9,008,000			
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源	358,000	484,000	485,000			
	一般財源	8,504,022	8,520,376	8,523,000			
	財源合計	8,862,022	9,004,376	9,008,000			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値		
救急救命士研修	研修実施人数	人	4	4	7		
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値		
有資格者数	救命効果に直接関係	人	12	12	18		

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	救急隊員としての資格が取得できる。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	救命率の向上が見込まれる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	救命率の成果が得られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	住民サービスとして応急処置の均等化が図れる。
平成28年度までの改善点	職員の採用時に救急救命士資格を有するものを採用することによって、財政負担を抑制できる。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 支出等科目が多岐にわたり、個人情報も扱うため。
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	有資格者を採用することによって、育成に係る経費を抑えられる。
平成30年度以降の方向性	採用計画により、事業を継続していく必要がある。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

資格を有する者の採用を検討する必要がある。
-----------------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.239

平成29年5月30日作成

事業番号	781	担当課等	消防署							
事務事業名	救助活動用資機材等整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	01	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P105 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と町と暮らしが調和した安全・安心な街づく	Ⅲ 安全な暮らしの確保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	② 救助活動の強化
関連する個別計画	資機材整備計画				
目的	様々な自然災害やテロ等の特殊災害に対応すべく、各種救助用資機材の整備をするものです。				
対象	救助活動用資機材				
内容	山岳救助資機材をはじめ、潜水資機材、交通救助資機材、建物等による事故等のあらゆる災害を想定した資機材を計画的に整備します。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)	
	事業費	2,209,999	1,432,836	696,000		
コスト	人件費	常勤職員	313,540	308,420	299,710	
		非常勤職員等				
	人件費合計	313,540	308,420	299,710		
総事業費	2,523,539	1,741,256	995,710			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	568,000	351,000	171,000		
	一般財源	1,955,539	1,390,256	824,710		
	財源合計	2,523,539	1,741,256	995,710		
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
資機材の整備	老朽化したものから整備		年	実施	実施	毎年
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
資機材の整備	老朽化したものから整備		年	実施	実施	毎年

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	救助活動に不可欠な資機材である。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	隊員の安全が確保される。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	災害活動時により安全に作業が実施できる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	対応速度の向上により災害の早期収束に寄与する。
平成28年度までの改善点	整備が遅れたことにより、資機材が老朽化して使用に限界がきている。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 主に物品の購入
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	計画通りに配備する必要がある。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.240

平成29年5月30日作成

事業番号	835	担当課等	消防署							
事務事業名	高圧ガス圧縮機整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	03	事業開始年度	平成 21 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P105 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	① 常時消防体制(消防 本部・消防)の整備
関連する個別計画					
目的	平成21年度に整備した高圧ガス圧縮機の保守点検委託業務				
対象	消防施設				
内容	空気呼吸器等のボンベに空気を充填するため、人命にかかわるので保守点検が必要。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)	
	事業費	178,200	178,200	255,000		
コスト 人件費	常勤職員	94,062	92,526	89,913		
	非常勤職員等					
	人件費合計	94,062	92,526	89,913		
総事業費	272,262	270,726	344,913			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	48,000	42,000	62,000		
	一般財源	224,262	228,726	282,913		
	財源合計	272,262	270,726	344,913		
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
施設整備	保守点検契約		年	実施	実施	毎年
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
施設整備	保守点検契約		年	実施	実施	毎年

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	保守点検委託料となるため必要。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	有料にて充填していたため、財政負担の軽減となる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	訓練等での使用が可能となり、財政負担の軽減となっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	反復訓練や負荷訓練が実施できるため、より高度な消防活動が行え平等性に寄与している。
平成28年度までの改善点	リース契約終了後から保守点検のみとなっている。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 保守点検が主
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	今後も継続的に行う必要がある。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.241

平成29年5月30日作成

事業番号	309	担当課等	消防署							
事務事業名	消防ポンプ自動車整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	03	事業開始年度	平成 29 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P105 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	① 常時消防体制(消防 本部・消防)の整備
関連する個別計画	消防車両等更新整備計画				
目的	車両の配備から20年が経過しており、ポンプ性能やエンジン性能の低下が見られ、消火活動に支障をきたす恐れがあるため。				
対象	消防ポンプ自動車				
内容	災害の最前線で活動する消防ポンプ車「湯河原1号車」の更新整備を行うものです。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)	
	事業費	0	0	0	0	47,225,000
コスト	人件費	常勤職員			1,798,260	
		非常勤職員等				
	人件費合計	0	0	0	1,798,260	
	総事業費	0	0	0	49,023,260	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金				10,000,000	
	地方債				36,900,000	
	その他特定財源					
	一般財源	0	0	0	2,123,260	
	財源合計	0	0	0	0	49,023,260
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
備品購入	消防ポンプ自動車	台	0	0	1	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
備品購入	消防ポンプ自動車	台	0	0	1	

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	消火活動や消防活動に不可欠な資機材である。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	隊員の安全が確保される。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	災害活動時により安全に作業が実施できる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	対応速度の向上により災害の早期収束に寄与する。
平成28年度までの改善点	更新を先延ばしにすることで、その後の計画にずれが生じてしまう。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 物品の購入等
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	従来通り実施していく。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.242

平成29年5月30日作成

事業番号	1059	担当課等	消防署							
事務事業名	高機能消防指令センターサーバ整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	03	事業開始年度	平成 24 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P105 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	① 常時消防体制(消防 本部・消防)の整備
関連する個別計画	部門別整備計画				
目的	指令システムにおいて不可欠なデータの保有や管理について、安定し運用ができる。				
対象	高機能消防指令センター				
内容	5年ごとの整備事業で、高スペックに更新することで即時反応ができ、オンラインサポートにより、緊急の対応にも支障なく運用ができる。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)	
	事業費	1,365,840	1,365,840	1,888,000		
人件費	常勤職員	94,062	92,526	299,710		
	非常勤職員等					
	人件費合計	94,062	92,526	299,710		
総事業費	1,459,902	1,458,366	2,187,710			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	381,000	380,000	531,000		
	一般財源	1,078,902	1,078,366	1,656,710		
財源合計	1,459,902	1,458,366	2,187,710			
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
施設整備	リース契約		年	実施	実施	5年ごと
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
施設整備	リース契約		年	実施	実施	5年ごと

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	消防の指令の要であるため必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	デジタル化にすることで、労力の軽減が図れている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	町民に対して公平である。
平成28年度までの改善点	5年目であるため、機材に不具合が生じてきている。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 リース契約
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	従来通り実施していく。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.243

平成29年5月30日作成

事業番号	1289	担当課等	消防署							
事務事業名	マタニティ・サポート119事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	03	事業開始年度	平成 29 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P106 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(2) 救急業務体制の 整備	① 緊急輸送体制の充実
関連する個別計画					
目的	出産期を迎えた妊婦を搬送するために整備する車両。				
対象	登録をしていただいた妊産婦				
内容	この事業を行うことで、若い年齢層の定住や里帰り出産の一要因となり、安全で安心な街づくりの担い手となる。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)	
	事業費	0	0	0	0	10,874,000
コスト 人件費	常勤職員				3,641,500	
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	0	3,641,500	
総事業費	0	0	0	0	14,515,500	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金				4,090,000	
	地方債				3,500,000	
	その他特定財源				2,554,000	
	一般財源	0	0	0	4,371,500	
	財源合計	0	0	0	0	14,515,500
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
搬送妊産婦数	年間登録者数		人	0	0	30
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
搬送妊産婦数	年間登録者数		人	0	0	30

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか		
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか		
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか		
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か		
平成28年度までの改善点			

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	2 搬送業務としては可能性はある。
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	今後の動向を注意し検討する。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

住民等へのPRに努める。
--------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(拡大)
------	--------

平成29年度事務事業評価シート

No.244

平成29年6月1日作成

事業番号	568	担当課等	総務課							
事務事業名	新採用職員初任教育事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	01	事業開始年度	昭和 45 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P105 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	① 常時消防体制(消防 本部・消防)の整備
関連する個別計画	新採用職員採用計画				
目的	計画的な研修等により、財政負担を抑制しつつ、必要十分な消防職員としての資質の向上を確保する。				
対象	消防職員				
内容	消防学校初任教育を修了することにより、最低限必要な消防職員としての専門知識を習得することができる。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)	
	事業費	1,179,960	1,155,320	846,000		
人件費	常勤職員	313,540	308,420	299,710		
	非常勤職員等					
	人件費合計	313,540	308,420	299,710		
総事業費	1,493,500	1,463,740	1,145,710			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	220,000	227,000	158,000		
	一般財源	1,273,500	1,236,740	987,710		
	財源合計	1,493,500	1,463,740	1,145,710		
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
初任教育研修	研修実施人数		人	5	4	4
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
初任教育研修	研修実施人数		人	5	4	4

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	消防職員として最低限の知識を取得できる。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	住民サービスとして均等化が図れる。
平成28年度までの改善点	職員の採用時に救急救命士資格を有するものを採用することによって、財政負担を抑制できる。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 消防学校での教育を実施している。(入校中は学校に一任している)
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	有資格者を採用することによって、職員の育成に係る経費を抑えられる。
平成30年度以降の方向性	採用計画により、事業を継続していく必要がある。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.245

平成29年6月1日作成

事業番号	569	担当課等	総務課							
事務事業名	県消防学校救急課程専科教育事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	01	事業開始年度	平成 3 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P106 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(2) 救急業務体制の 整備	② 救急救命士などの育 成
関連する個別計画	新採用職員採用計画				
目的	計画的な研修等により、財政負担を抑制しつつ、必要十分な救急救命能力の維持・向上を確保する。				
対象	消防職員				
内容	消防学校初任教育を修了した3名について、救急隊員の資格取得のための専門教育を受講させる。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
コスト	事業費	448,960	336,720	227,000		
	人件費	常勤職員	313,540	308,420	299,710	
		非常勤職員等				
	人件費合計	313,540	308,420	299,710		
	総事業費	762,500	645,140	526,710		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	128,000	94,000	65,000		
	一般財源	634,500	551,140	461,710		
	財源合計	762,500	645,140	526,710		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
救急隊員標準課程研修	研修実施人数	人	4	3	76	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
有資格者数	救命効果に直接関係	人	55	58	76	

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	救急隊員としての資格が取得できる。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	救命率の向上が見込まれる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	救命率の成果が得られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	住民サービスとして応急処置の均等化が図れる。
平成28年度までの改善点	職員の採用時に救急救命士資格を有するものを採用することによって、財政負担を抑制できる。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	消防学校での教育を実施している。(入校中は学校に一任している)
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	有資格者を採用することによって、職員の育成に係る経費を抑えられる。	
平成30年度以降の方向性	採用計画により、事業を継続していく必要がある。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.246

平成29年6月5日作成

事業番号	782	担当課等	総務課							
事務事業名	消防職員専門教育事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	01	事業開始年度	平成 20 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P105 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	① 常時消防体制(消防 本部・消防)の整備
関連する個別計画	消防職員研修計画				
目的	消防業務は専門員化が進み、水難救助の国家資格取得や火災調査、予防業務など各分野においてより高度な知識と経験が必要とされるようになってきているため、消防学校等において専門員の育成教育を受講させる。				
対象	消防職員				
内容	消防大学校や県消防学校において、火災調査や予防業務、水難救助、特別救助等の高度な技術を学び、個人の能力向上が図れることから全体の能力向上も図られる。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費	537,520	206,048	532,000	
人件費	常勤職員	313,540	308,420	299,710	
	非常勤職員等				
	人件費合計	313,540	308,420	299,710	
総事業費	851,060	514,468	831,710		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源	108,000	45,000	99,000	
	一般財源	743,060	469,468	732,710	
財源合計	851,060	514,468	831,710		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
特殊技能資格研修人数	未研修者の年間実施人数	人	6	8	5
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
特殊技能資格取得者数	対象職員のうち研修実施 職員数	%	40	50	100

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	専門知識に特化した職員育成ができる。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	専門の職員の指導により、一定期間内に専門的知識の向上が図れる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	消防職員としての専門的な知識が習得でき、危険性を伴う業務に対応することができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	町全域で発生する災害に出動し、町民全体に均等な受益がある。
平成28年度までの改善点	計画的に受講させることにより、士気高揚が図れる。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 消防学校での教育を実施している。(入校中は学校に一任している)
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	ベテランの退職等を踏まえ、計画的に受講させる必要があり、現状維持とする。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.247

平成29年6月5日作成

事業番号	783	担当課等	総務課							
事務事業名	消防職員用被服整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	01	事業開始年度	平成 20 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P105 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	① 常時消防体制(消防 本部・消防)の整備
関連する個別計画	消防職員被服等整備計画				
目的	消防職員へ貸与する被服を計画的に整備するもの。				
対象	消防職員				
内容	保安帽、防火衣、活動服、制服、執務服等を整備する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)	
	事業費	518,400	0	1,149,000		
人件費	常勤職員	313,540		299,710		
	非常勤職員等					
	人件費合計	313,540	0	299,710		
総事業費	831,940	0	1,448,710			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	194,000		214,000		
	一般財源	637,940	0	1,234,710		
財源合計	831,940	0	1,448,710			
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
被服等の整備	整備の実施		実施	完了	未了	予定
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
被服等の整備	整備の実施		実施	完了	未了	予定

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	消防職員への貸与品である。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	士気高揚に役立つ。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	計画的に貸与することで、成果が得られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	町全域で発生する災害に出動し、町民全体に均等な受益がある。
平成28年度までの改善点	計画的に貸与することにより、士気高揚が図れる。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 物品の購入等
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	ベテランの退職等を踏まえ、計画的に貸与する必要があり、現状維持とする。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.248

平成29年6月5日作成

事業番号	1094	担当課等	総務課							
事務事業名	消防庁舎LED照明導入事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	01	事業開始年度	平成 25 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P105 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	① 常時消防体制(消防 本部・消防)の整備
関連する個別計画					
目的	老朽化した照明器具をLED照明に変更することで、消費電力の節約でき、財政負担を軽減できる。				
対象	消防職員				
内容	LED照明をリース契約して導入したもの。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)		
	事業費	346,500	346,500	346,500	347,000		
人件費	常勤職員	31,354	30,842	30,842	29,971		
	非常勤職員等						
	人件費合計	31,354	30,842	30,842	29,971		
総事業費	377,854	377,342	377,342	376,971			
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源	377,854	377,342	377,342	376,971		
	財源合計	377,854	377,342	377,342	376,971		
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
施設整備	リース契約		年	実施	実施	毎年	
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
施設整備	リース契約		年	実施	実施	毎年	

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	庁舎の環境整備に必要不可欠なものである。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	町財政の負担軽減につながり、環境の改善がみられる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	環境の改善により作業効率の向上が見られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	環境の改善により安全衛生上均等性がある。
平成28年度までの改善点	老朽化した施設の改善を順次実施していく。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	リース契約
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
平成30年度以降の方向性	継続的实施する必要がある。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.249

平成29年6月5日作成

事業番号	834	担当課等	総務課							
事務事業名	消防指令車整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	03	事業開始年度	平成 22 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P105 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	① 常時消防体制(消防 本部・消防)の整備
関連する個別計画	車両整備計画				
目的	更新車両をリース契約することで、維持経費が削減でき、財政負担の軽減になる。				
対象	消防車両				
内容	平成22年度に5年間のリース契約を行い、平成27年度に3年間の再リース契約を行ったもの。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)	
	事業費	768,960	751,680	752,000		
コスト 人件費	常勤職員	94,062	92,526	89,913		
	非常勤職員等					
	人件費合計	94,062	92,526	89,913		
総事業費	863,022	844,206	841,913			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	160,000	150,000	146,000		
	一般財源	703,022	694,206	695,913		
	財源合計	863,022	844,206	841,913		
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
車両整備	リース契約		年	実施	実施	毎年
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
車両整備	リース契約		年	実施	実施	毎年

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	研修や重複災害に使用でき、必要性がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	重複災害に出動している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	傷病者搬送や研修時に利用ができています。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	対応速度の向上により災害の早期収束に寄与する。
平成28年度までの改善点	リース契約を行っているため、維持管理がリース料のみである。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 リース契約
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	今後も継続的に行う必要がある。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.250

平成29年6月5日作成

事業番号	306	担当課等	総務課							
事務事業名	女性防火クラブ消防活動推進事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	02	事業開始年度	平成 13 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P105 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	③ 非常備消防体制(消 防団)の充実
関連する個別計画					
目的	日頃家事に従事する女性の協力を得て、住民が安心して暮らせる安全で災害に強い街づくりのため、消防機関と地域の連携を密にし、また、防火・防災リーダーの一員として火災予防の知識・技術を習得し、災害等から地域を守り、明るい安全な地域社会を築くこと。				
対象	町民				
内容	救命講習会への参加及び指導補助、応急手当・初期消火・ロープ応用訓練などを実施し、防災訓練や火災予防運動などに参加して、防火思想や普及啓発活動を行っている。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)	
	事業費	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000
人件費	常勤職員	313,540	308,420	308,420	299,710	
	非常勤職員等					
	人件費合計	313,540	308,420	308,420	299,710	
総事業費	673,540	668,420	668,420	659,710		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	673,540	668,420	668,420	659,710	
	財源合計	673,540	668,420	668,420	659,710	
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
普及啓発活動等	年間5回以上		回	6	6	6
定期訓練等	毎月1回以上		回	8	10	10
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
普及啓発活動等	年間5回以上		回	5	6	6
定期訓練等	毎月1回以上		回	9	10	10

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 火災予防運動中に保育園などを巡り、幼少期からの防災思想育成のため寄与している。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5 防火・防災での普及啓発活動での活躍が素晴らしい。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 女性目線での普及啓発活動等が行えており、成果は得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 研修会や各種イベントへ参加しており、町民に対しても均等性がある。
平成28年度までの改善点	クラブ員確保に苦慮している。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	主に活動費の支出や訓練の実施
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	クラブ員に広く意見を求め、その都度不都合な点を改善している。	
平成30年度以降の方向性	クラブ員の確保	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.251

平成29年6月5日作成

事業番号	832	担当課等	総務課							
事務事業名	消防団詰所改修事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	02	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P105 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	③ 非常備消防体制(消 防団)の充実
関連する個別計画					
目的	消防団詰所の老朽化し、改修が必要な場所から順次改修していく。				
対象	消防団詰所9個分団				
内容	県補助が対象となるトイレの洋式化やエアコンの設置等を中心に実施する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)	
	事業費	2,530,440	1,274,400	1,500,000		
コスト	人件費	常勤職員	313,540	308,420	299,710	
		非常勤職員等				
	人件費合計	313,540	308,420	299,710		
総事業費	2,843,980	1,582,820	1,799,710			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	39,000	637,000	653,000		
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	2,804,980	945,820	1,146,710		
財源合計	2,843,980	1,582,820	1,799,710			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
改修する消防団	整備する団数	詰所数	5	3	9	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
改修する消防団	整備する団数	詰所数	5	3	9	

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	消防団詰所であるため、必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	福利厚生となる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	士気高揚につながる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	全ての詰所で実施することにより均等化する。
平成28年度までの改善点	改修の必要性に優先順位をつけ、順次行っていく。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 詰所等の改修工事
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	従来通り実施していく。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.252

平成29年6月5日作成

事業番号	833	担当課等	総務課							
事務事業名	消防団活動用資機材等整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	02	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P105 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	③ 非常備消防体制(消 防団)の充実
関連する個別計画					
目的	県補助を受けながら順次不足している資機材等を整備していく。				
対象	消防団の資機材				
内容	投光器やホース、物置、救命胴衣などを順次整備する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)	
	事業費	1,454,760	2,808,000	1,500,000		
人件費	常勤職員	313,540	308,420	299,710		
	非常勤職員等					
	人件費合計	313,540	308,420	299,710		
総事業費	1,768,300	3,116,420	1,799,710			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	467,000	673,000	500,000		
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,301,300	2,443,420	1,299,710		
財源合計	1,768,300	3,116,420	1,799,710			
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
備品購入	メニュー方式		円	1,301,300	2,443,420	1,299,710
県補助額	補助対象		円	467,000	673,000	500,000
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
備品購入	メニュー方式		円	1,301,300	2,443,420	1,299,710
県補助額	補助対象		円	467,000	673,000	500,000

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	消防団事業のため必要である。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	士気高揚に資している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	各消防団がメニュー方式で必要なものをそろえている。
平成28年度までの改善点	補助が受けられる間実施していく。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	物品の購入等
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
平成30年度以降の方向性	補助が受けられる間実施していく。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.253

平成29年6月6日作成

事業番号	1092	担当課等	総務課							
事務事業名	消防団員用防火服整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	02	事業開始年度	平成 29 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P105 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	③ 非常備消防体制(消 防団)の充実
関連する個別計画					
目的	更新途中であった防火衣の整備を再開したもの。				
対象	消防団員				
内容	平成24年度から整備していたが、新基準の活動服を整備していた間中断していたもので、それが終了したため、再開したもの。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)	
	事業費	0	0	0	0	1,867,000
コスト 人件費	常勤職員				299,710	
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	0	299,710	
総事業費	0	0	0	0	2,166,710	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金				932,000	
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	0	0	0	1,234,710
財源合計	0	0	0	0	2,166,710	
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)	
必要性	町が実施する必要があるのか
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か
平成28年度までの改善点	各分団均等に配備する。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 物品の購入等
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	従来通り実施していく。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.254

平成29年6月6日作成

事業番号	1327	担当課等	総務課							
事務事業名	消防出初式実施事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	02	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P105 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	③ 非常備消防体制(消 防団)の充実
関連する個別計画					
目的	年初めの行事として実施することで、消防職団員の士気高揚につながる。				
対象	消防職団員				
内容	消防団員の表彰や幼年消防クラブ員や少年少女消防クラブ員による演技披露、中学生と横浜消防音楽隊によるコラボ演奏などを実施。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)		
	事業費	0		527,990		800,000	
人件費	常勤職員			2,775,780		2,697,390	
	非常勤職員等			600,000		600,000	
	人件費合計	0		3,375,780		3,297,390	
総事業費	0		3,903,770		4,097,390		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源	0		3,903,770		4,097,390	
財源合計	0		3,903,770		4,097,390		
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
準備から実施まで	延べ人員		人	300	300	300	
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
実施結果	参加人員(推定)		人	400	400	400	

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	消防団行事のため必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	士気高揚につながっている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	全員参加で均等化している。
平成28年度までの改善点	式典終了後に反省会を行い、不備な点を改善している。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 祝賀会を委託している
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	従来通り実施していく。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.255

平成29年6月6日作成

事業番号	314	担当課等	消防署							
事務事業名	消防用ホース整備事業(真鶴)									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	04	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P105 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	① 常時消防体制(消防 本部・消防)の整備
関連する個別計画	消防用ホース整備計画				
目的	消防用ホース整備計画に基づき、更新整備を行うもの				
対象	消防職員				
内容	消火活動において不可欠となる資機材を、必要最低本数を計画的に整備することで、安全・充実・強化が図れる。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)	
	事業費	640,440	410,400	470,000		
人件費	常勤職員	94,062	92,526	89,913		
	非常勤職員等					
	人件費合計	94,062	92,526	89,913		
総事業費	734,502	502,926	559,913			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	640,440	410,400	470,000		
	一般財源	94,062	92,526	89,913		
	財源合計	734,502	502,926	559,913		
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
資機材の整備	配備本数		本	15	10	48
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	消防活動に不可欠な資機材である。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	隊員の安全が確保される。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	災害活動時により安全に作業が実施できる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	対応速度の向上により災害の早期収束に寄与する。
平成28年度までの改善点	整備が遅れたことにより、資機材の配備数に限界がきている。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 物品の購入等
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	計画どおりに配備する必要がある。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.256

平成29年6月6日作成

事業番号	1000	担当課等	消防署							
事務事業名	消防職員用被服整備事業(真鶴)									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	04	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P105 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	① 常時消防体制(消防 本部・消防)の整備
関連する個別計画					
目的	未整備となっていた被服を整備する。				
対象	消防職員				
内容	夏用制服上着の長袖及び冬用アポロキャップを整備する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)	
	事業費	162,000	206,064	104,000		
コスト 人件費	常勤職員	94,062	92,526	89,913		
	非常勤職員等					
	人件費合計	94,062	92,526	89,913		
総事業費	256,062	298,590	193,913			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	162,000	206,064	104,000		
	一般財源	94,062	92,526	89,913		
	財源合計	256,062	298,590	193,913		
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
被服整備	保安帽、防火衣、制服等		着	12	12	12
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	隊員の消防活動に不可欠である。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	隊員の安全が確保される。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	作業環境の快適性が確保され、衛生状況が改善される。
平成28年度までの改善点	被服の貸与は定期的に行う必要である。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 物品の購入等
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	継続的に貸与を行う。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------